事業所名　ユニケアこどもデイサービス旭

居宅訪問型児童発達支援
支援プログラム

作成年月日　2025年11月1日

法人(事業所)理念	ご利用者とそのご家族の幸せに貢献する		
支援方針	こどもの意思と権利を尊重し、体調や発達の状況、家族の意向、居宅の生活環境を踏まえて支援します。日常生活や遊びの中で5領域を総合的に捉え、個別支援計画に沿って、無理のない活動と人との関わりを積み重ねます。医療機関や訪問看護等と連携し、安全に配慮して支援します。		
営業時間	9時0分　から　18時　0分まで	送迎実施の有無	無
	支　援　内　容		
本人支援	体調、睡眠、食事、排泄、生活リズム等を家族と確認し、安心して活動できる環境を整えます。身の回りの動作を、こどもの状態に応じた方法で支援します。医療的ケアがある場合は、家族・医療関係者と必要な注意点を共有します。		
運動・感覚	姿勢や身体の動き、感覚の特性を把握し、安楽な姿勢や活動しやすい環境を整えます。手を伸ばす、触れる、物を操作する等の遊びを取り入れ、音・光・触感等への反応や負担に配慮します。		
認知・行動	好きな物や興味、理解の仕方を把握し、分かりやすい提示や活動の見通しを用意します。見る・聞く・触れる等の経験、物の選択、原因と結果を感じられる遊びを取り入れ、できた経験を積み重ねます。		
言語 コミュニケーション	表情、視線、発声、身体の動き等を意思表出として丁寧に受け止めます。こどもに合った言葉、写真、絵、実物等を用い、選択や要求、拒否を伝える機会をつくります。必要に応じて意思伝達手段を検討します。		
人間関係 社会性	安心できる大人との関係を基盤に、遊びややり取りを通じて、人と関わる楽しさを育みます。家族やきょうだいとの関わりを支え、体調や本人の意思に配慮しながら、家庭外の人や地域とのつながりに向けた経験を支援します。		
家族支援	家族の困りごとや希望を聴き、こどもの反応や成長を共有します。家庭で取り入れやすい関わり方や環境調整を一緒に考えます。きょうだいの気持ちや生活にも配慮し、必要に応じて相談先や社会資源につなぎます。	移行支援	体調や発達、本人・家族の意向を踏まえ、通所支援の利用、就園・就学、生活の場の変化を見据えた準備を支援します。本人・保護者の同意のもと、移行先や関係機関と必要な情報を共有し、支援の継続につなげます。
地域支援・地域連携	保護者の同意のもと、相談支援、医療機関、訪問看護、児童発達支援センター、通所支援、保育所・学校等と連携します。こどもの生活や支援目標を共有し、家庭と地域の支援がつながるよう調整します。	職員の質の向上	事例検討、支援記録の振り返り、職員間の情報共有を行います。発達支援、医療的ケア児への配慮、意思決定支援、虐待防止、感染症対策、緊急時対応等の研修を通じ、支援の質の向上を図ります。
主な行事等	行事は実施していません		